

子どもと親のサポートセンターの取組

1 研修事業

(1) 実施状況

- ・学校における生徒指導、教育相談体制の充実及び教職員の資質向上を図るため、段階的かつ体系的な研修講座を実施している。
- ・喫緊の課題であるいじめ・自殺問題について、未然防止や早期発見に向け組織的対応が図れるよう研修を実施している。
- ・訪問相談担当教員及びスクールソーシャルワーカーについて、児童生徒、保護者、教職員へのより効果的なサポートができるよう事例検討、情報交換等の研修を実施している。

〔研修事業例〕

講座名(対象者)	実施日数	定員
教育相談基礎研修(経験1年から概ね20年を経過した教員) 教育相談に関する基礎的知識・技術を学び、教員としての資質の向上を図る。	4日間	100名
教育相談上級研修(教育相談基礎研修を修了した教員) 学校教育相談を進める上で必要な知識・技能を学び、学校教育相談の推進者としての資質の向上を図る。	5日間	70名
学校カウンセリング専門研修(教育相談上級研修を修了した教員) 学校教育相談に関する専門性の高い理論・技術を習得し、教育諸活動の中にそれらを生かすと同時に、学校及び地域における指導的な役割を果たせるようにする。	7日間	50名
教育相談指導者養成研修(専門研修・長期研修・大学院修了者で教育事務所長より推薦された教員) 地域における教育相談の指導者として、カウンセリングだけでなく、コーディネート(連携の推進)やサポート(事例や面接場面の指導)等も十分に担える人材を育成し、地域における教育相談体制の充実を図る。	7日間	20名
教育相談セミナーⅠ・Ⅱ(県民及び教育関係者) 教育相談に関する様々な内容を学ぶ機会を提供し、子どもたちのより良い成長を支える一助とする。	休日開放事業 (各1日)	各200名
不登校の子どもの支援する実践研修(不登校児童生徒に関わる教員、教育関係者) 不登校児童生徒への理解を深め、指導方法を学び、実践力の向上を図る。	3日間	36名

(2) 受講者アンケート

<教育相談基礎研修>

- ・非常に実践的で勉強になりました。次年度以降、上級、専門も受講したいと思いました。教育のプロとして、人間関係のプロとして、学び続けたいと思います。(小学校教諭)
- ・4日間の研修で、日頃悩んでいたことへの答えとなるヒントを見つけることができました。色々な技法を、今後の指導場面で活かしていきたいと思います。(特別支援学校教諭)
- ・事例研究のやり方について学びましたが、質問の仕方や見立ての難しさを感じました。しかし、何人かで同じ事例について考えることで色々な気づきがあり、大変有益でした。学んで実践できるようにしていきたいです。(中学校教諭)

<不登校の子どもの支援する実践研修>

- ・講師のお話は大変わかりやすかったし、とても勇気づけられた。我々、不登校生徒の支援を行う中、変化が見られず無力感におそわれることもあるが、その解消ができた。また何をすればよいのかもよくわかった。(中学校教諭)
- ・不登校の子どものことと関わっていく上で、認識が誤っていることに気づき、非常に勉強になりました。実践例を今後活かしたいと思います。(高等学校教諭)

2 教育相談の状況(平成27年度)

学校生活に関すること、心や身体のこと、その他進路や適性に関すること等、個々の状況に応じて、本人及び保護者、教職員に対し相談活動を通して支援・援助を行います。各相談機関とのネットワークを構築し、相談者の様々なニーズに対して、より適切な支援・援助を行うための教育相談窓口とします。

種別	受付時間等	対象
電話相談	フリーダイヤル 0120-415-446 ※24時間対応	児童生徒・ 保護者・ 教職員等
来所相談	月～金 9:00～17:00(祝日、年末年始は除く) ※新規の来所相談は、電話(フリーダイヤル)で事前に申し込んでください。 (受付時間 平日 8:30～17:15)	
FAX相談	FAX番号 043-207-6041	
Eメール相談	Eメールアドレス saposudan@chiba-c.ed.jp	
24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310		

(1) 月別相談状況

(単位:件)

相談	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	445	454	500	460	396	542	583	590	419	472	531	614	6,006
来所	412	477	542	630	452	449	502	471	476	451	437	514	5,813
FAX				1							1		2
Eメール	4	3	6	7	8	8	7	12	9	4	26	15	109
合計	861	934	1,048	1,098	856	999	1,092	1,073	904	927	995	1,143	11,930

(2) 相談内容

ア 電話相談(4月～3月)多し順

内容	件数	割合
1 不登校	554	12.7%
2 家庭問題関係	509	11.7%
3 友人問題関係	360	8.2%
4 学校生活上の問題	357	8.2%
5 いじめ	338	7.7%
その他	2,247	37.4%
ためらい・無言等	1,641	
合計	6,006	

イ 来所相談(4月～3月)多し順

内容	延べ回数	割合
1 性格・行動(不登校・遅刻の癖等)※	4,605	79.2%
2 知能・学業(発達障害傾向・成績等)	588	10.1%
3 身体・神経機能(発達障害等)	394	6.8%
4 進路・適性(休学転学・学校職業選択等)	74	1.3%
その他(他機関紹介等)	152	2.6%
合計	5,813	

※ 不登校 2,435回 41.9%  
不登校以外 2,170回 37.3%

具体的な相談内容

- ・ 偏食があるため入学に当たり、学校給食の時間が心配です。
- ・ 希望して進学したが、入学してみると事前の予想と違い、登校意欲がわかない。
- ・ 友達との関わり方がうまくいかず、登校しにくくなった。
- ・ 学習の進め方が早く感じられて、授業内容がわからず学校生活が不安になる。
- ・ 子どもが、反抗的な言葉を言うてくることが多く、対応に悩んでしまう。
- ・ 子どもが心配で注意しても、子どもが受け入れようとしない。
- ・ 父親に子どものことを話しても、関わりを持とうとしてくれず困っている。